

平成 2 8 年度第 1 回事務事業評価における総括

部 局 名	教育総務部	記入責任者	海野 誠
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>教育施設課の業務計画に位置付けられた重点事業である小学校敷地底地整理事業については、底地整理実施校数を 2 校予定していたところ 1 校となっていることから C 評価としています。また、中学校グラウンド（一校）拡張事業及び学校施設利活用検討事業については、関係課と情報を共有し、慎重に検討してきたことからいずれも C 評価としています。</p> <p>教育総務部の業務計画に位置付けた事業では、3 2 事業のうち 2 7 事業で指標を達成し、S 評価としていることから、おおむね順調に進捗しています。しかし、目標値を達成できず、C 評価としたものが 3 事業あることから、政策・施策目標の達成に向けて、再度事業の見直しを行う必要があります。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C 評価とした 3 事業のうち、小学校敷地底地整理事業については、隣接関係権利者との調整や敷地内道水路敷の廃止・付け替え等を地道に継続しており、成果は今後見込めるとしています。また、中学校グラウンド（一校）拡張事業及び学校施設利活用検討事業については、現時点では具体的な展開には至っていませんが、事業として存続し、関係課等との調整を進めるものとします。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた各事業の今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、継続して進めていきますが、一方で、業務計画に位置付けたハード事業の一部に遅れの出ている事業もあるので、それを補うために、再度全体の事業の見直しを行います。</p> <p>具体的には、平成 2 8 年度教育施設課の業務計画にも位置付けがありますが、教育推進部で策定する（仮称）教育施設等再整備基本方針と連携し、小中学校の建て替え、長寿命化、統廃合等の計画策定に向けた準備作業を進めます。</p>			